

橋梁点検の現地研修を開催します！

— 新技術・点検支援技術活用講習会 —

福岡県道路メンテナンス会議主催による、地方自治体支援の一環として、県内の地方公共団体職員等を対象に橋梁の点検支援技術活用講習会を開催しますのでお知らせします。

国土交通省では、労働力不足が懸念される中、今後増大するインフラ点検をより効果的・効率的に行うため、点検支援技術の積極的な導入を行っております。

この講習会は、橋梁の点検支援技術の活用により、点検方法の効率化が図られることから地方公共団体の点検支援技術に対する理解を深め、定期点検を行う上での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、自らの定期点検に反映してもらうことを目的として開催するものです。

なお、「福岡県道路メンテナンス会議」とは、道路施設の維持管理・補修を効果的・効率的に行うため、各道路管理者が相互に連絡・調整を行い、道路施設の点検計画等を共有することにより、道路施設の予防保全・老朽化対策を円滑に行うことを目的とした会議です。

【現地研修会の概要】

1. 日 時 : 令和 8 年 2 月 18 日 (水) 13:30 ~

2. 場 所 : 国道 3 号 現道 遠賀大橋

※駐車場所（遠賀川河川敷）：福岡県遠賀郡水巻町立屋敷 3 丁目（別紙参照）

3. 内 容 : 橋梁定期点検を行う上で点検支援技術を円滑に活用できるよう、「点検支援技術性能カタログ」に記載されている技術等について紹介します。

【報道関係者の皆様へ】

- ・取材される場合は、ヘルメットを貸与しますので、前日の 15 時までに下記の問い合わせ先へご連絡下さい。
- ・悪天候の場合は延期または中止する場合があります。その際は事前にご連絡します。

《問合せ先》

国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所

技術副所長 山下 正昭 管理第二課長 上村 真吉

電話 093-951-4331 (代表) URL : <https://www.qsr.mlit.go.jp/kitakyu/>

北九州国道事務所
マスコットキャラクター



[きたこくHP](#)



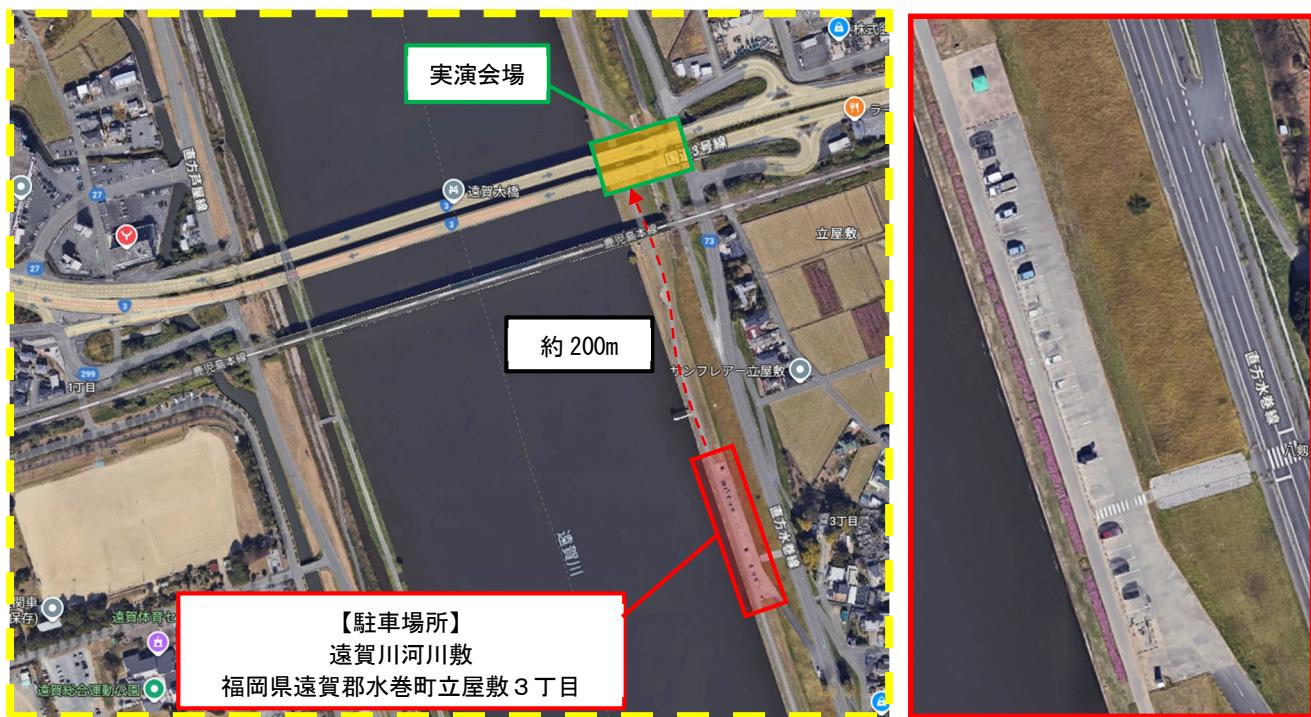
会場案内図

【現場研修会場】

国道 3 号 遠賀大橋



現場実演会場詳細



点検支援技術の紹介

■ 点検支援技術性能力タログ掲載技術

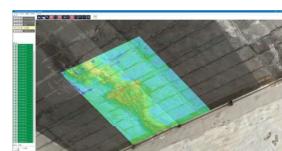
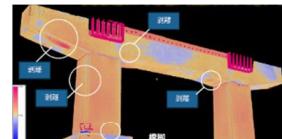
近接目視を補完・代替充足する技術の紹介

点検支援技術①：点群データを活用した構造物表面の剥離・剥落等の損傷部検出技術 〔MEMOREAD〕 [技術番号：BRO20037-V0125]

◆効果：作業の効率化

◆技術概要

- 点群データから構造物表面に現れた剥離、剥落、その他損傷箇所等の凹凸部をグラデーションにより色表示で可視化し、損傷部を検出する技術である。
- 差分解析技術により面積計算、容積計算、損傷図作成等作成が可能となる。



点検支援技術②：社会インフラ画像診断サービス「ひびみつけ」

〔技術番号：BRO10024-V0525〕

◆効果：作業の効率化

◆技術概要

- コンクリート構造物を撮影した写真から、AIを活用しコンクリートに発生する「ひびわれの自動検出」と「ひびわれ幅の自動計測」の画像解析を行う技術である。
- 任意のCADソフト、表計算ソフト等でダウンロードしたデータを読み込み、点検調書（損傷図）の所定の項目に貼付けることが可能となる。



点検支援技術③：AI技術を用いた打音検査器（PDC-200A）

〔技術番号：BRO20033-V0125〕

◆効果：作業の精度向上

◆技術概要

- AI打音検査器（PDC-200A）は人力型による打撃音を付属のマイクで集音、デジタルデータ化したものFFT変換後、AIを用いた判定手法でうきの有無を器械が判断する技術である。
- 専用アプリケーションをインストールすることで、タブレットにて波形を表示させ、現場でうきの有無を確認することが可能となる。



点検支援技術④：点検補助機器（ファイバースコープ、水中ドローン等）

◆効果：不可視部の近接目視の代用

◆技術概要

- Pix4D(※)、ファイバースコープ、ドローン、水中ドローン、360度カメラ、CCDカメラ、検査ミラー等

※技術名称：モバイル端末による3次元計測ソリューション「PIX4D シリーズ」、NETIS登録番号：KT-230067-A



[Pix4D]



[ファイバースコープ]



[ドローン(DJI MAVIC3)]



[水中ドローン]



[360度カメラ]